

龍山森林組合における労働生産性向上と素材生産量増産の取組

1. 林業事業体等名 たつやましんりんくみあい 龍山森林組合（静岡県浜松市）

2. 林業事業体の概要

- ①年間素材生産量 7,000m³（うち 間伐の占める割合 90%）
- ②生産する主な樹種 スギ、ヒノキ
- ③素材生産に関わる作業員数 10名（1セット3～4名×3セット）

3. 取組の特長

- ・当森林組合区域の急傾斜な地形や、当組合の既保有機械との組み合わせを考慮して、高性能林業機械の整備を検討した。
- ・その結果、0.25 m³クラスのバックホウをベースマシンとしたスイングヤーダ付プロセッサ1台、及び全幅2,060mm全長5,500mmで小旋回可能なフォワーダ1台を、平成25年度森林整備加速化・林業再生事業を活用して整備した。
- ・高性能林業機械の整備と並行し、効率的に素材生産を行うため、素材生産に関わる作業員体制を2班（全10名）から3班（全10名）に変更した。

4. 具体的な内容

①施業方法：架線系集材

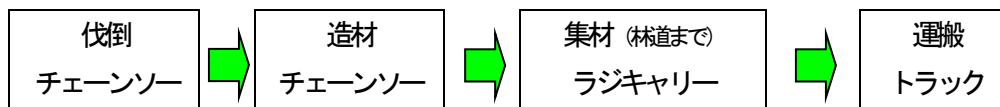
②使用機械：チェーンソー、プロセッサ付スイングヤーダ（*）、フォワーダ（*）

（*印の機械を平成25年度に整備）

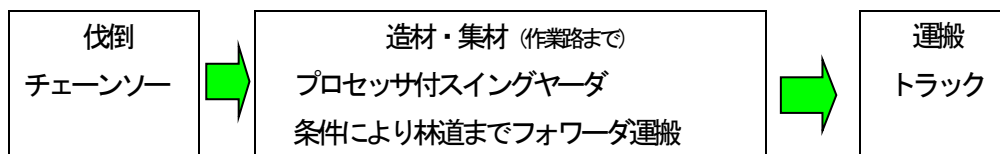
（このほか、当事業体ではグラップルやホイールクレーン等を保有）

③ 生産システム

1) 平成24年度以前の架線系集材システム（集材距離30m程度以上）



2) 平成25年度以降の新たな架線系集材システム（集材距離100m）



④労働生産性及び素材生産量

新生産システム導入前（～H24）		新生産システム導入後（H25～）	
労働生産性 （利用間伐） （m ³ /人・日）	素材生産量 （m ³ ）	労働生産性 （利用間伐） （m ³ /人・日）	素材生産量 （m ³ ）
2.7	7,000	3.0	8,000

⑤成果

・従来の生産システム（車両系集材やラジキャリーによる架線集材）に加え、新たな生産システムの導入（プロセッサ付スイングヤーダ、フォワーダ）等により、様々な地形条件での作業が可能となり、労働生産性の向上と素材生産量の増大に繋がっている。

5. 今後の取組等

- ・平成27年度は外部講師を招き、森林組合の事務職員や森林技術者の意識改革を促すとともに、労働生産性の向上や素材生産量の増大に努めている。
- ・引き続き、森林経営計画の樹立を進めて施業地を確保していく。



【プロセッサ付スイングヤーダによる玉切り】



【プロセッサ付スイングヤーダによる集材】

【問い合わせ先】

所属：静岡県西部農林事務所天竜農林局森林整備課

役職・氏名：林業振興班長 邊見哲郎

連絡先：053-926-2327